



2025 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ  
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美  
(コード番号：4881 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊  
(TEL. 03-5315-4200)

### 抗体誘導ペプチド「FPP003」のオプション契約終了のお知らせ

当社は、住友ファーマ株式会社（以下、「住友ファーマ」）より 10 月 21 日付でオプション権を行使しない旨の通知を受領し、抗体誘導ペプチド「FPP003」に関するオプション契約が終了することとなりましたのでお知らせいたします。

#### <通知内容>

住友ファーマは、がん及び精神神経（CNS）領域への研究開発プログラムの選択と集中を進めております。オプション権行使の検討にあたり、開発ポートフォリオの優先順位を検討した結果、皮膚疾患等を対象疾患として開発中の FPP003 のオプション権は行使しないことにいたしました。

当社は、2018 年 3 月に、大日本住友製薬株式会社（現 住友ファーマ）との間でオプション契約を締結し、FPP003 の北米での独占的開発・商業化権を取得するためのオプション権を付与しました。その後、当社は、オーストラリアで尋常性乾癬患者を対象とする第Ⅰ/Ⅱa 相臨床試験を実施し、また日本では第Ⅰ相臨床試験及び体軸性脊椎関節炎（強直性脊椎炎）患者を対象とする第Ⅱa 相臨床試験が医師主導治験として実施されました。

当社は、現在、開発ポートフォリオの中で、①皮膚潰瘍を対象疾患として開発中の機能性ペプチド「SR-0379」の日本での第Ⅲ相臨床試験（02 試験）、②花粉症を対象疾患として開発中の抗体誘導ペプチド「FPP004X」の日本での第Ⅰ相臨床試験の 2 つの臨床開発プログラムに対して開発・資金リソースを優先的に投下して企業価値向上を推進しております。FPP003 については、既に完了している初期臨床試験結果等に基づいて、今後、次相臨床試験以降の新たな開発パートナー確保に向けたアライアンス活動を推進してまいります。

なお、本オプション契約終了に伴い住友ファーマとの間で金銭の授受はなく、本件による当社グループの 2025 年 12 月期業績に対する影響はありません。

### 【抗体誘導ペプチド「FPP003」】

抗体誘導ペプチドは、患者様の体内で抗体産生を誘導することにより治療効果を期待するペプチド治療ワクチンです。難治性の慢性疾患に対しては、バイオテクノロジーを活用した抗体医薬品が有効な治療薬として臨床の現場で広く使用されています。体外で人工的に製造する抗体医薬品と異なり、体内で抗体を産生させる抗体誘導ペプチドは、（抗薬物抗体を原因とする）効果の減弱が起こらず、長期にわたって治療効果を維持することが期待されます。さらに免疫細胞が一定期間抗体を産生することから、薬剤の投与間隔（数ヶ月に1回の注射）が長く投薬の頻度が少なくなり、服薬アドヒアランス（服薬遵守）及び利便性の改善により患者様の QOL（Quality of life）の向上が見込まれます。また当社は、化学合成で製造可能な抗体誘導ペプチドを、高額な抗体医薬品に対して医療費を抑制する代替医薬品として開発し、先進国で深刻化する医療財政問題の改善にも貢献していきたいと考えております。

FPP003 の標的タンパク質 IL-17A（interleukin-17A）は、様々な炎症性疾患の病態に重要な役割を担っており、先行する抗 IL-17A 抗体医薬品は、尋常性乾癬、関節症性乾癬、強直性脊椎炎及び X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎等の幅広い疾患を対象に薬事承認を取得しております。FPP003 については、尋常性乾癬及び強直性脊椎炎等を対象とする開発が進んでおります。

以上